



『新嘗祭』献穀米御田植祭が行われました
献穀者の吉本辰也さんと吉本恵理子さん

祝 献穀米御田植祭



新嘗祭とは、毎年11月23日に行われ宮中恒例祭典の中でも最も重要なものとされています。5世紀（6世紀の飛鳥時代に誕生したと伝えられている新嘗祭は1948年に時代の変化と共に、「勤労感謝の日」となり、国民の祝日となりました。

新嘗祭とは、毎年11月23日に行われ宮中恒例祭典の中でも最も重要なものとされています。5世紀（6世紀の飛鳥時代に誕生したと伝えられている新嘗祭は1948年に時代の変化と共に、「勤労感謝の日」となり、国民の祝日となりました。

この後9月25日に「抜穂祭」を行い、10月下旬に皇居での「新嘗祭献穀奉納式」に精米五合が献上されます。

新嘗祭に獻上する「御田植祭」が5月28日に鈴岡地区の吉本辰也さん所有する32アールの水田で行われました。今金町からの獻上は、初めての事です。

新入職員のご紹介

この春、JA今金町に入組した
2名の新入職員を紹介します。

一入組の動機について

自然が豊かで理想的な職場だと感じたのが入組の動機ですが、昨年の実習で入組したい気持ちが強くなりました。

一仕事をしてみての印象・感触をおしえてください。

社会人1年目で慣れない事も覚える事も多いですが、先輩方が丁寧に指導して下さるので、働きやすいと感じました。教えて頂いた事はしっかりと吸収して、一刻も早く立派な職員となれるよう、努力して参ります。

一自分の長所を教えてください。

責任感があるところです。

一学生時代に打ち込んでいた事はありますか？

資格取得（造園技能士・日本農業技術検定）に励んでいました。

一組合員さんへ一言お願いします。

覚える事が多く、ご迷惑をおかけする事があると思いますが、組合員のお力になれるよう全力でサポートに努めさせて頂きます。よろしくお願い致します。



まつざわ だいき
松澤 大輝

出身地 七飯町

出身校 大野農業高等学校

趣味 映画鑑賞

血液型 O型

座右の銘 「継続は力なり」

一入組の動機について

昨年の実習で組合員や職員の皆様からとても優しくして頂き、私も今金町で何か役に立てる事をしていきたいと思い、入組を決めました。

一仕事をしてみての印象・感触を教えてください。

どんな事をするにしても、とにかく大変ですが、その中で重要な点などを見出し、それを自分の知識として活かしていきたいです。

一自分の長所を教えてください。

チャレンジ精神です！！

一学生時代に打ち込んでいた事はありますか？

生徒会や部活動を行い、様々な事に携わろうと努力していました。

一組合員さんへ一言お願いします。

今年はとにかく農協の“基”を身につける年にしています。その課程で様々な事を教えて頂いたりするとは思いますが、それをしっかりと形にできるよう頑張っていきます！



むらかみ ゆうた
村上 勇太

出身地 具知安町

出身校 具知安農業高等学校

趣味 サッカー・スポーツ観戦

血液型 O型

座右の銘 「有無を言わさず

メモを取り

いまかね TOPICS

ライスターミナル社会科見学



5月15日、町内の小学生が社会科見学の一環として、「函館育ちライスターミナル今金工場」へ見学に訪れました。当日は、販売課の職員が、どのようにしてお米が育ち、ライスターミナルに持ち込まれて来るのか分かりやすく丁寧に説明をしながら施設内を回りました。

児童達はメモを取つたり、質問したりと熱心に聞き入っていました。

第45回道南ブラック&ホワイトショウ開催



八雲町の畜産共進会場にて第45回ブラック&ホワイトショウが4月26日に開催されました。62頭（内、今金より12頭）の乳用牛が出陳され、生農家の日頃の研鑽努力による改良成果が披露されました。審査は厳格公正に行われ、未経産牛で「クリサンス エルメン GC カラーゼ」（出陳者菊地章太さん）が、経産牛で「クリサンス エルメン ブラクストン キララン」（出陳者菊地章太さん）がそれぞれ最高位を獲得しました。

未経産牛最高位
クリサンス エルメン GC カラーゼ

臨時総会開催しました



今金町農協大会議室において、5月18日、第17回臨時総会が開催されました。正組合員304名のうち（本人出席31名、委任出席2名、書面議決194名）が出席、議長には田代地区の末藤春義組合員が選任され議事が進められました。

議案第1号「米穀及び雑穀保管倉庫の建設について」原案通り可決されました。

豊作を願い田植え開始



5月16日、八鈴地区の宮北誠市さん、鈴岡地区の吉本辰也さんを皮切りに田植えがスタートしました。快晴にも恵まれ、絶好の田植え日和となりました。近年豊作基調の水稻ですが、安定的な収量・品質を得るためにには基本的な技術の励行が欠かせません。「農時電送」など農技術・予察情報を注視し豊作の秋を迎えましょう。

いまかね TOPICS

もぎたて市 開市しました



JJA今金町女性部もぎたて市会員による「もぎたて市」が、5月28日よりAコープいまかね店で始まりました。会員の皆様が自家栽培し、朝早く収穫した新鮮な野菜を持ち寄り陳列をしています。旬の野菜を味わえる「もぎたて市」は11月頃まで販売していますので、皆様のご利用お待ちしております。

ホルスタイン入牧



5月25日、町内の酪農家から放牧のため集められたホルスタインが日進牧場へ入牧しました。当日は、酪農畜産課をはじめとする営農部職員と共に、役場・共済組合など関係機関の皆様に応援を頂き、作業が行われました。牛たちは、秋頃まで牧場に預けられ、大自然の中でのびのびと過ごします。

農業経営課より

今年度の各地区・各部会の担当です。
よろしくお願い致します！

氏名	担当地区	担当部会
吉田 哲也	上地区・種川・メッツ	青年部・椎茸
坂上 信彦	今金・稻穂	軟白長ネギ・アスパラ・水稻直播
松澤 大輝	田代・八鈴	ミニトマト
岡野 孝	トマンケシ・神丘南・神丘北・鈴岡	畑作・早出馬鈴薯・無人ヘリ
成田 卓朗	鈴金・金原・豊田	女性部・広域大根・広域人参
前川 公佑	八東西・八束東・白石・日進	小かぶ・ブロッコリー
菅野 康弘	—	種子馬鈴薯
大西 玲吏	—	ミニトマト

6月の宮農対策

今後の農作物管理		今後の農作物管理	
水稲	<p>◎6月は分げつ盛期、生育促進と必要茎数確保を！ (幼穂形成期までに「ふっくりんこ」等は概ね 600 本 / m²目標に) ☆基本技術の励行で生育促進と虫・草・ワキ害の回避を！</p> <ul style="list-style-type: none"> ①水温を高める水管理：平均水温 20°C を目標に、晴天時は浅水・止水、入水は夜間～早朝に。 ②初期害虫の発生確認と防除：イヌイモヒゲリカバ I(産卵)、イヌコイモヒゲリカバ(成虫)、アザレコガ(アムシ) 等 ③除草剤の適期処理：一発(剤) 处理又は体系処理（中期 & 後期）。 ④稻わら飼込による“ワキ”害に対しては適宜水の入替えや天候の安定した時期に速やかに「中干し」を行う。 ※後期除草剤の処理を含め、幼形期前までに終えること。 <p>☆6月末～7月上旬には幼穂形成期に到達（見込）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①主稈の幼穂長：平均 2mm を確認する。 ②幼形期から 10 日間は「前歴期間」：水深は前半 5cm → 後半 10cm へ、水温 25°C 以上を確保し（耐冷性を高め）、「冷害危険期」に備える。 <p>☆床土の土壤分析と改善・・・（急がず、6月末～7月頃に）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①成苗の置床では「低 pH とリン酸過剰」で苗質低下（発根抑制や「異常褐変症状」等）が見られますので総合分析（リン酸及塩基等）実施と改善を。 ②具体的には石灰・苦土資材（カルマグ等）で pH を 4.8 まで上げると共に苦土を補給。 ③翌春の施肥はリン酸不要⇒肥料銘柄見直しや単肥対応を。 ※育苗直後の土壤採取は避ける。 	大豆	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャガイモヒゲナガアブラムシの防除 <p>1回目 初生葉が展開したとき（クルーザー処理時は不要） 2回目 1回目の7～10日後 3回目 2回目の7～10日後（発生に応じて行う）</p>
秋まき小麥	<ul style="list-style-type: none"> ・止葉期以降の追肥 今時期の追肥は、子実の充実やたんぱくの向上に効果があります。茎数や葉色を確認し、葉色が薄い畑は、すぐに追肥を行いましょう。また、赤かび病防除時の尿素 2% 液の散布も子実の充実に効果があります。葉焼けが起きる場合がありますので、朝晩の涼しい時間に散布しましょう。 ・赤かび病防除 穂全体に薬液がかかることで、開花時期の赤かび病菌の感染を防ぐことができます。穂の全体が、出揃ったらすぐに防除を行いましょう。1回目と2回目の防除を確実に行なうことが重要です。 	てんさい	<ul style="list-style-type: none"> ・病害虫の適期防除 根腐病は6月中～下旬頃から発生し、連作や短期輪作ほ場で発生が多くなります。 害虫対策のためほ場をよく観察し、食害の程度を考えて防除の必要性を検討しましょう。 ヨトウムシ：被害株率 50% 以上で即時防除 テサイモヒゲリカバ I: 12 葉期の被害株率 100%・被害葉（食害面積 1/4 以上）5 枚 / 株以上で即時防除
馬鈴薯	<ul style="list-style-type: none"> ・疫病防除について 疫病は、初発時の防除が重要です。 ほ場の確認と「FLABS」による危険日到達予測を参考にし、適期防除に努めましょう。 ・ジャガイモヒゲナガアブラムシ飛来予測 4月1日からの積算気温で飛来時期を予測することができます。平年は5月末となっています。発生状況を十分に観察し、効果的な防除を実施しましょう。 	畜産	<ul style="list-style-type: none"> ・1番草の収穫 ア 牧草の生育状況を確認し、イネ科牧草は穂ばらみ期から出穂期を目安に収穫しましょう。 イ 出穂の早い「ハルガヤ」が多くなっている草地が散見されます。単純な草地更新では絶滅が難しい雑草です。早めに対策を検討しましょう。 ・搾乳衛生 牧草収穫で多忙な時期は、搾乳者の入れ替わりがあるため抗生物質混入事故に特に注意しましょう。事故防止のため治療牛のマーキングを確実に行い、全ての搾乳作業者へ抗生物質使用牛の連絡と確認を徹底しましょう。
豆類（大豆・小豆）	<ul style="list-style-type: none"> ・除草剤の適正使用 パワーガイザー液剤を使用する場合は、散布時期や飛散に十分注意して下さい。 ・茎疫病に注意 排水不良のほ場や多雨などでほ場が滞水すると多発します。気象情報に留意し、過去に発生したほ場では発病前（6月下旬～）に予防防除を行いましょう。 	ブロッコリー	<ul style="list-style-type: none"> ・定植後の管理 コナガなどの飛来性害虫の初発確認は平年より早くなっています。発生状況の確認と、防除の準備をしましょう。 6月は、タマヤナガ（ネカリムシ）の飛来する時期となります。ほ場観察により、早期防除を実施しましょう。 中耕および培土は、1回目が定植後 10～14 日目頃、2回目は定植後 20～25 日目頃（うね間が葉でふさがる頃）に追肥を兼ねて行います。
軟白長ネギ		軟白長ネギ	<ul style="list-style-type: none"> ・農薬の適正使用 ネギハモグリバエが近年多発傾向にあります。葉を観察し白い点状の成虫食痕が見られたら薬剤散布を行って下さい。白い線状の幼虫被害が出てからでは防除の効果は得られにくいです。 農薬の使用に当たっては、希釈倍率、特に収穫間近のものは使用時期に注意し、計画的に防除を行いましょう。
にんじん		にんじん	<ul style="list-style-type: none"> ・除草剤の適正使用 防除基準で除草剤の散布時期、投下薬量を良く確認し、適正に使用しましょう。 また、生育期に登録のある薬剤でも、にんじんに薬害のおそれがあるので散布時期に間違わないよう注意してください。

檜山農業改良普及センター 檜山北部支所

TEL 0137-84-5514

FAX 0137-84-5596

E-mail hoho-nokai-hokubu.11@pref.hokkaido.lg.jp

URL <http://www.hiyama.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/index.htm>

J A グループ通信

J A グループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

J A 北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBSITEをご覧ください。

J A 北海道中央会

本会北見支所が企画し、オホーツク地区のJ A広報誌を中心にお評連載中の「続・今こそJ A」を、ご紹介します。

今年は、協同組合の原点である「口ツチデール原則」を再確認するほか、J Aグループが取り組む自己改革のご紹介を通じて、協同組合の歴史と経過を振り返る全12回の連載としてあります。

組合員に限らず、」

A 広報誌を購読する
地域の皆さんにも、私たちは協同組合の成り立ちや活動を知つてもらい、共感して頂きたいと考えております。



J A 北海道信連

J A バンク北海道では、スポーツ振興や地域振興の観点から、「日本スポーツ豊平川マラソン春RUN! 漫!」への協賛を行い、3年目となります。

大会ではゼッケンに「J A バンク北海道」ロゴをつけたランナーを応援するとともに、特設ブースにちよりスも駆け付け、春のワクワクもらエールキンペーンのPRや、抽選による日本ハム戦チケットプレゼント企画を行って大会を大いに盛り上げました。



ホクレン

ホクレンは3月14、15日に、新たな販路開拓に向けて食品バイヤーを対象にした「第12回J A フルーツ国産農畜産物商談会」（東京国際フォーラム）に出展しました。

「北海道こめ油」や「てんさい糖」、乳製品などを幅広く紹介したほか、ボトル形状やデザインをリニューアルしたホクレンの顆粒片粉「とろりんぱつ」を使ったから揚げや角煮の試食を提供し、北海道の安全で安心な農畜産物や加工食品の魅力を伝えました。



J A 共済連北海道

J A 共済連では、今年もスタッフによる交通事故の再現により危険性を疑似体験（スケアードストレイト技法）させる交通安全教室を、道内8つの高等学校で開催しました。体験した生徒からは「危険を再認識した」「ルールを守り、気をつけていきたい」などの感想が寄せられました。このような活動で交通事故が減り、安心して暮らせる地域づくりに貢献していくないと考えております。



J A 北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るために、事業の積極的な啓蒙推進を行うことを目的として、広報誌「すまい」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。ホームページにもバッカナンバーを掲載しておりますので、是非ご覧ください。



皆さんへ、ご注意とお願い

熱中症予防のために

こまめに水分を補給してください

室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じなくとも、こまめに水分・塩分、経口補水液※などを補給しましょう。

※ 経口補水液とは、食塩とブドウ糖を溶かしたものをおいいます。



暑さを避けてください

できるだけ風通しのよい日陰など、涼しい場所で過ごしましょう。

以下の症状にお気をつけください。

熱中症の症状▶めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のこむら返り、気分が悪い、頭痛、吐き気、嘔吐(おうと)、倦怠感、虚脱感、いつもと様子が違う

«重症になると»返事がおかしい、意識消失、けいれん、からだが熱い

熱中症が疑われる人を見かけたら

涼しい場所へ 風通しのよい日陰など、涼しい場所へ

からだを冷やす 衣服をゆるめ、からだを冷やす(首回り、脇の下、足の付け根など)

水分補給 水分・塩分、経口補水液などを補給する

**自力で水が飲めない、意識がない場合は、
すぐに救急車を！**

「熱中症」は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。

詳しくは、厚生労働省ホームページ「熱中症関連情報」をご覧ください。

厚生労働省 热中症

検索

